

診療計画説明書 大腿骨頸部骨折(人工骨頭置換術・骨接合術)

経過	入院日～手術前々日	手術前日	手術当日	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目～退院(転院)予定日(14～21日目)
月日	/ / ~ /	/ /	/ /	/ /		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ / ~ / /
退院基準	・創部の出血がない ・感染徴候がない										
達成目標	・手術の必要性がわかる			・感染の兆候がない、不良肢位をとらない						・退院後の生活についてイメージできる	
検査	・手術前日までに血液検査・レントゲン検査を行います  			・医師の指示により血液検査・レントゲン検査があります  							 
処置	・血栓予防のため弾性ストッキングまたは包帯を装着します ・医師の指示にて手術まで牽引することもあります	→	・血栓予防の機械を装着します		→	・ガーゼを除去しフィルムを張ります	→	・フットポンプを外してからは、弾性ストッキングまたは弾性包帯を装着します(歩行できるようになったらなしになります)		→	・ガーゼやフィルムをはがします
薬剤	・以前からの持病の薬がありましたら見せてください ・医師の指示にて薬が中止になることがあります 		・手術前から点滴行います 	・医師の指示にて抗血栓剤が開始することがあります(ドレーンなどがあれば抜去後から) 							・薬剤師による薬剤指導を行います
食事	・常食です 		・絶飲食です(指示にて手術後水、お茶のみ可とすることがあります) 	・朝から食事開始です 							・栄養についてパンフレットに沿って説明をします
安静度	・医師の指示にてベッド上安静または車椅子まで動けます		・手術後ベッドを30°まで挙上、看護師の介助にて横向きに可です。 	・ベッド上で座れます 車椅子に乗れます 				・リハビリの状況にて車椅子、歩行器、杖などを使用して活動できます  			→
リハビリ	・手術まで出来る範囲のリハビリを行います			・手術翌日からリハビリ開始となります							・パンフレットに沿って転倒防止の指導を行います
排泄	・車椅子の許可があればトイレへいきます ・ベッド上なら尿器またはオムツにて介助します ・必要時尿の管をいれます		・尿管がはいっていない場合は手術室にて尿の管がはいってきます 	・痛みに応じて尿管を抜いてトイレにいけます				・リハビリの状況にて車椅子から四点歩行器、杖にてトイレに行けます 			→
清潔	・シャワーに入れない場合は看護師が体を拭きます	・シャワー又は体を拭きます 		・看護師が体を拭きます 				・フィルムに変更後Drの許可が出ればシャワーに入れます(適宜看護師が方法の説明や介助をします) 			→
説明・指導	・入院について説明します ・血栓予防の足首の運動を説明します ・腓骨神経麻痺の内容、術後のリスクや予防方法について説明します ・ご不明な点は主治医、看護師にお尋ねください	・医師から手術および麻酔の説明があります ・回復期病院転院についての説明があります ・看護師から手術の説明があります 	・主治医から手術後に説明があります 	・回復期病院への転院調整を行います(必要時) ・日常生活や動作(脱臼予防、足首の運動など)について説明します							・骨粗鬆症ハンドブックに沿って指導を行います ・退院(転院)後の日常生活動作の説明・指導を行います 

* 病名は現時点で考えられるものであり、今後検査を進めていくにしたがって変わり得ます。

岐阜市民病院 整形外科 令和4年6月改訂

* 入院期間は治療内容や現時点で予測されるもので、症状により変わります。